

令和元年 6 月 5 日

日本腎臓学会 研修施設 教育責任者 殿

一般社団法人 日本腎臓学会  
教育・専門医制度委員会  
委員長 深川 雅史

腎臓版 J-OSLER についてのご案内と  
指導医名ご登録等届出提出のお願い

拝啓 初夏の候、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より日本腎臓学会の運営にご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、2018 年 4 月から基本領域の研修が開始され、内科ではサブスペシャリティの連動研修が可能となっている予定でしたが、厚生労働省および日本専門医機構と詰めなければいけない部分もあり、具体的な制度の決定に時間がかかっている状況です。

新制度で腎臓専門医を目指す内科専攻医は、腎臓版 J-OSLER を使って経験症例の蓄積を行います。本年 9 月の稼働に向け、開発を行っています。

サブスペシャルティ連動研修が正式に開始され、腎臓版 J-OSLER が稼働するまでは、内科の連動研修を行っている専攻医は内科専門研修版の J-OSLER に症例を蓄積していただいて、あとで、症例をエクスポートしていただく予定です。

小児科、泌尿器科、外科では連動研修は行わないので、また、カリキュラムが開始となる時期にお知らせいたします。

つきましては、本年 9 月の腎臓版 J-OSLER の稼働に向け、各認定研修施設における指導体制の届け出の提出をお願いいたします。具体的には、下記を記入していただきます。

- ・認定研修施設名
- ・腎臓専門研修責任者氏名（腎臓指導医である必要あり）
- ・責任者以外の腎臓指導医の氏名

なお、腎臓指導医が一人もいない場合は、腎臓専門医が腎臓学会の指導医を 3 年以内に取得することを条件に「暫定指導医」といたしますので、暫定指導医の方のお名前と、複数いる場合は、その中から一人の方を責任者として、どなたが責任者かをお知らせ下さい。

届出は、腎臓学会ホームページ→ニュース&トピックス→「認定研修施設における指導体制の届出」からダウンロードをして、記入例に沿ってご記入後、メールでご返信下さい。

提出締切：6 月 25 日（火）

提出先：腎臓学会事務局・西村 メールアドレス：nishimura@jsn.or.jp

ご不明点がございましたら、西村まで、メール、電話 03-5842-4131 までお問合せ下さい。

ご多忙中恐れ入りますがご高配の程どうぞよろしくお願い申し上げます。

敬 具

<お知らせ>

◆腎臓学会のホームページに、新専門医制度について現段階で決まっていることを「Q&A」にして掲載しています。

腎臓学会ホームページ→教育・専門医制度委員会→「新専門医制度について」をご一読下さい

◆来年 2020 年 4 月 1 日より、研修施設は名称が「認定教育施設」、更新の条件も変更となります。

- ① 腎・尿路系疾患の入院患者が年間 100 名以上であること
- ② 施設独自の研修カリキュラムを有すること。
- ③ 常勤医指導医が 1 名以上いること。常勤医とは週 4 日以上勤務する医師を指す。
- ④ 日本腎臓学会学術総会、或いは東部・西部学術大会で学会発表が過去 5 年間で年平均 1 演題（計 5 演題）以上あること。

但し、この細目④のみは、2025 年 4 月 1 日から必須とし、それまでは必須としない。